

プロポーザル方式募集要領等に関する回答書

【業務名：探究学習・地域人材のICT教材化業務委託】

令和7年 4月23日

公開する回答

質問No	質問該当箇所	質問	回答
1	仕様書5(1)ア	コンテンツ数について、昨年度は動画が16本、記事が25本程度掲載されている。noteへの投稿数は25本ほどだが、動画+記事の合計数で40本程度となっている。2025年度の「ICT教材を30本程度制作」というのも「動画」と「記事」の合計数という認識でよいか。	御見込みの通りです。 なお、動画と記事の数は、同数を想定しています。
2	募集要項8(3)	「コンテンツの利用状況に関する効果測定」に関して、効率的に効果測定をするため、例えば探究担当者の研修の場でのアンケート取得や各校への質問票の配布など、県教育委員会の協力を得ることはできるか。	可能な限り委託先で対応いただきますが、県教育委員会の協力方法も含め、企画提案書に具体的に記載してください。
3	仕様書5(2)ア	各校の探究活動全般に伴走というのが今回の制作物を元という意味がそれ以外も含めてなのか。	制作物の活用のみにとどまらず、幅広い支援・活用を想定しています。
4	仕様書5(2)イ	助言等を行う学校の選定や調整は県が実施するのか実施時期、実施校数の目安はあるか。	学校の選定や調整は、県内全県立高等学校を対象に行うこととしますので、実施時期や目安の数字を含めて企画を御提案ください。
5	仕様書5(2)ウ	授業実践事例の集約は、今回新たに制作するコンテンツを使用したものに限らないという認識でよいかコンテンツのみ先に納品する必要があるか知りたい。	今回新たに制作するコンテンツを使用したものに限らないという認識で構いません。 また、コンテンツのみを先に納品する必要はありません。
6	仕様書7(2)	サポート実施期間も委託期間と同様と考えてよいか夏休み等も問合せ体制が必要か。 一次受付：チャットボット、二次受付：メール、三次受付：電話のように段階設定したサポート体制でも問題ないか。	同様に考えていただければと思います。 夏休み等のサポート体制につきましては、委任先がサポートできる体制を確立し御提案ください。